

問1 名古屋港から浜松市にかけて広がる沿岸部に形成され、大型の船舶が出入りできる工業地帯を何という？

1. 京浜工業地帯 2. 阪神工業地帯 3. 北九州工業地帯 4. 中京工業地帯

問2 福井県で眼鏡フレームの国内シェアが非常に高く、産地として知られる市を何という？

1. 豊田市 2. 岡崎市 3. 浜松市 4. 鯖江市

問3 愛知県の西部に広がり、木曾川などの河川によってつくられた肥沃な平野を何という？

1. 筑紫平野 2. 濃尾平野 3. 越後平野 4. 関東平野

問4 愛知県を中心に、自動車や機械関連などの工業が非常に発達し、日本最大の工業生産額を誇る地域を何という？

1. 中京工業地帯 2. 北九州工業地帯 3. 阪神工業地帯 4. 京浜工業地帯

問5 岐阜県的美濃地方を中心に、長い歴史を持つ伝統的な和紙を何という？

1. 美濃和紙 2. 阿波和紙 3. 越前和紙 4. 土佐和紙

問6 静岡県を通り、首都圏と中京圏・近畿圏を短時間で結ぶ日本の大動脈となっている鉄道を何という？

1. 山陽新幹線 2. 東北新幹線 3. 北陸新幹線 4. 東海道新幹線

問7 木曾川・長良川・揖斐川の総称を何という？

1. 淀川流域 2. 筑後川流域 3. 木曾三川 4. 利根川流域

問8 石川県にある、日本海に大きく突き出しており、複雑なリアス海岸が見られる半島を何という？

1. 能登半島 2. 伊豆半島 3. 房総半島 4. 紀伊半島

問9 富山県において、雪解け水をもたらし、扇状地が発達するきっかけとなった高く険しい山脈を何という？

1. 立山連峰 2. 飛騨山脈 3. 赤石山脈 4. 木曾山脈

問10 岐阜県北部の白川村にあり、豪雪に耐える急勾配の屋根が特徴的な、世界遺産にも登録されている伝統的な建築様式を何という？

1. 竪穴住居 2. 長屋門 3. 合掌造り 4. 高床倉庫

問11 福井県の若狭湾沿岸に多く立地し、近畿地方へ電力を供給している施設を何という？

1. 原子力発電所 2. 風力発電所 3. 火力発電所 4. 水力発電所

問12 愛知県に位置し、世界的な自動車メーカーの本社があることから自動車工業が非常に盛んな市を何という？

1. 四日市市 2. 日立市 3. 豊田市 4. 浜松市

問13 長野県内を流れる信濃川の、上流から中流にかけての名称を何という？

1. 北上川 2. 最上川 3. 千曲川 4. 阿武隈川

問14 信濃川の下流に広がる、稲作が非常にさかんな広大な平野を何という？

1. 関東平野 2. 仙台平野 3. 越後平野 4. 筑紫平野

問15 かつての水晶細工の技術を生かし、山梨県で発達した精密な工業を何という？

1. 自動車工業 2. 精密機械工業 3. 鉄鋼業 4. 石油化学工業

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中京工業地帯	中京工業地帯は、愛知県を中心に三重県まで広がる日本屈指の工業地帯です。トヨタ自動車をはじめとする自動車工業が非常に盛んで、関連する部品メーカーや機械工場が多く集まっています。また、石油化学や繊維産業なども発達しており、日本の製造業を支える重要な拠点となっています。
問2	答え 4 鯖江市	明治時代に眼鏡づくりが導入されて以来、分業体制を確立し、高い技術力を維持してきました。現在では世界的な眼鏡産地として知られ、デザインから製造までを一貫して行う企業が多く存在します。
問3	答え 2 濃尾平野	濃尾平野は日本有数の広大な平野で、温暖な気候を利用して稲作や野菜の近郊農業が盛んです。平野部は非常に平坦であるため、古くから水害に悩まされてきましたが、同時にその豊かな土壌は農業生産を支えてきました。
問4	答え 1 中京工業地帯	中京工業地帯は、愛知県を中心に三重県や岐阜県の一部まで広がる日本最大の工業地帯です。特に自動車工業の割合が極めて高く、輸送用機械器具の製造において世界的なシェアを持っています。関連する部品産業も非常に豊富に集まっています。
問5	答え 1 美濃和紙	美濃和紙は、薄くて丈夫でありながらも温かみのある手触りが特徴です。江戸時代には幕府の公文書用紙として使われるなど、高い品質が評価されて全国に名が知れ渡りました。
問6	答え 4 東海道新幹線	1964年に開業した東海道新幹線は、日本の工業地帯をつなぐ重要な路線です。それまでの在来線とは異なる新しい技術やシステムを採用したことで、大幅な時間短縮と大量輸送を可能にしました。
問7	答え 3 木曾三川	木曾三川とは、木曾川・長良川・揖斐川の総称です。河口付近ではこれらの川が複雑に入り組んでおり、水害を防ぐために江戸時代に薩摩藩が行った大規模な「宝暦治水工事」が有名です。
問8	答え 1 能登半島	能登半島は、日本海に突き出た形で北に長く伸びる半島です。この地域は、複雑に入り組んだリアス海岸や砂浜が点在し、独特の景観を作り出しています。内陸部は「能登の里山里海」として自然と共生する独自の農業・漁業の形が受け継がれており、その文化的な価値から世界農業遺産にも選ばれました。
問9	答え 1 立山連峰	立山連峰は、富山県東部に位置する日本屈指の山岳地帯です。冬の間には大量の雪を蓄え、春から夏にかけてその雪解け水が扇状地を流れ下ることで、水力発電や稲作に利用されています。この急流が運ぶ土砂が大きな扇状地を形成し、その上に富山市などの市街地が築かれました。
問10	答え 3 合掌造り	合掌造りは、その名の通り手のひらを合わせたように三角形に組まれた急勾配の屋根が最大の特徴です。釘を一本も使わず、太い梁を組み合わせて丈夫な構造を作っています。この地域特有の気候風土と、人々の生活の知恵が結びついて生まれました。
問11	答え 1 原子力発電所	若狭湾は、地形の特性や地盤の安定性から、原子力発電所の立地に適した場所として多くの施設が建設されました。ここで発電された電気は、送電線を通じて関西地方などの大都市圏へ送られています。
問12	答え 3 豊田市	豊田市は、日本を代表する自動車メーカーの工場が集まる企業城下町として発展しました。自動車の組み立てだけでなく、多くの部品工場や関連会社が周辺に集積しており、高い生産効率を誇ります。
問13	答え 3 千曲川	長野県内では「千曲川」と呼ばれ、山間部から盆地を流れていきます。新潟県に入ると名前が「信濃川」となり、越後平野を北へ流れて日本海へと注ぎます。千曲川の流域は肥沃な盆地が広がり、果樹栽培などの農業が非常にさかんです。
問14	答え 3 越後平野	新潟県にある越後平野は、日本最大級の平野であり、広大な水田が広がっています。信濃川の豊かな水と肥沃な土壌を利用した米作りが盛んで、古くから日本を代表する穀倉地帯としての役割を果たしてきました。
問15	答え 2 精密機械工業	細かな部品を扱う水晶細工で培われた手先の器用さや加工技術が、後に時計やカメラ、医療機器などを製造する精密機械工業へと引き継がれました。これにより、内陸県でありながら高度な技術を要する産業が発展しました。